

平成30年度
商店街実態調査報告書（山形県版）
概要版

令和2年3月

山形県商工労働部

目 次

I	商店街実態調査について	1
1	調査の目的	1
2	調査概要	1
3	調査項目	1
II	調査結果のポイント	2
1	商店街の概要について	2
1-1	商店街の全体の店舗数	2
1-2	商店街におけるチェーン店舗数	2
1-3	商店街の業種別店舗数の割合（業種構成）	3
1-4	商店街の空き店舗数の状況	4
1-5	商店主の退店（廃業）の状況	7
1-6	商店街組織の専従事務局員の有無	8
1-7	商店街組織の会員（組合員）数と会費未納入店舗の割合	8
2	商店街の景況と来街者の動向について	9
2-1	商店街の最近の景況	9
2-2	最近の商店街への来街者の動向	9
2-3	外国人観光客の動向	12
3	商店街の抱える課題と取組状況について	14
3-1	商店街の抱える問題	14
3-2	経営者の後継者問題に対する商店街の取組状況	14
3-3	商店街の予算規模	15
3-4	商店街の個店の魅力向上のための取組状況	16
3-5	空き店舗の発生に対する商店街の取組状況	17
3-6	商店街の地域（各種団体等）との連携状況	18
4	現在、商店街が取り組んでいる具体的な各種事業について	19
4-1	商店街が実施しているソフト事業	19
4-2	商店街が実施しているハード事業	20
4-3	外国人観光客の受け入れに関する取組状況	21

I 商店街実態調査について

1 調査の目的

近年の商店街を取り巻く環境は厳しく、少子化による人口減少や後継者不足による空き店舗の増加、消費スタイルの多様化や郊外立地型大型店との競争など、様々な課題を抱えており、その状況は地域によって異なり、また時間の経過とともに変化しています。

商店街実態調査は、こうした商店街の景況や空き店舗の状況、商店街が抱える問題など商店街の実態を明らかにし、今後の商店街活性化施策の基礎資料とすることを目的として中小企業庁が実施したものを活用し、山形県分としてとりまとめたものです。

2 調査概要

調査地域	全国
調査対象	商店街※ (商店街振興組合、事業協同組合等、その他の法人、任意団体)
調査方法	郵送による発送・回収及びインターネットによる回収
調査時点	平成30年10月1日現在
調査票発送数	12,096※
調査票の回答	調査回答件数 4,240※ (回答率35.1%) うち有効回答件数 4,234※ (有効回答率35.0%)

※ 本調査でいう「商店街」とは、①小売業、サービス業等を営む者の店舗等が主体となって街区を形成し、②これらは何らかの組織を形成しているものをいいます。

※ 各都道府県が把握している商店街数(参考値)を合計したところ、14,035件(山形県は172件)でした。なお、山形県分の調査票発送数は152件であり、集計件数は58件(集計率38.2%)でした。

※ 山形県の調査回答件数及び有効回答件数は公表されていません。

3 調査項目

(1) 商店街の概要

- 組織形態
- 店舗数
- 空き店舗数
- 会員数
- 居住している店舗数
- 専従事務局員数
- 業種構成 等

(2) 商店街の立地環境及び商業環境

- 事務所所在地
- 立地環境
- 中心来街者層
- 来街者数の変化
- 各種調査の実施状況
- 外国人観光客の動向 等

(3) 商店街の景況と近年の変化

- 景況
- 大規模小売店舗の影響 等

(4) 商店街の問題と取り組み

- 商店街における問題点
- 個店の改善策・活性化策
- 組織の活動
- 商店街リーダー
- 各種商店街事業の取り組み
- 外国人観光客の受入れ状況 等

II 調査結果のポイント

1 商店街の概要について

1-1 商店街の全体の店舗数

商店街の平均店舗数は 34.3 店となっており、国全体の平均店舗数 50.7 店と比較すると、16.4 店少なくなっています。

1-2 商店街におけるチェーン店舗数

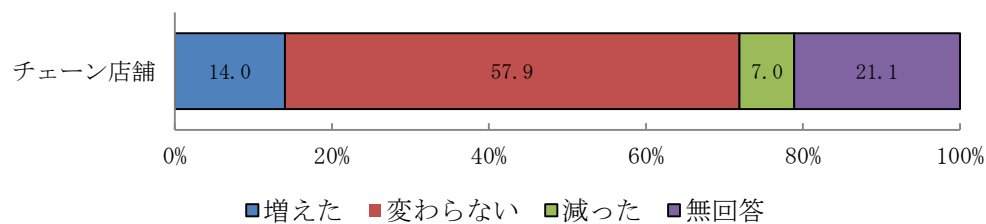
(1) チェーン店の平均店舗数

商店街に立地するチェーン店舗(*)の平均店舗数は 0.9 店となっており、国全体の平均店舗数 5.3 店と比較すると、4.4 店少なくなっています。

(2) 最近 3 年間の商店街におけるチェーン店舗数の変化

最近 3 年間のチェーン店舗数の変化についてみると、「増えた(14.0%)」と回答した商店街が「減った(7.0%)」と回答した商店街を 7.0 ポイント上回っています。

図表 1 最近 3 年間の商店街におけるチェーン店舗数の変化



(3) チェーン店舗率

1 商店街に占めるチェーン店舗数の割合(チェーン店舗率=チェーン店舗数合計(41 店) / 商店街の全店舗数(1,385 店))は 3.0%となっており、国全体の 10.1%と比較して 7.1 ポイント少なくなっています。

図表 2 チェーン店舗率の推移

(単位: 店、%)

	全店舗数 A	チェーン店舗数 B	チェーン店舗率 B/A
山形県	1,385	41	3.0
国全体	148,536	15,014	10.1

* 「チェーン店舗」とは、ブランドや営業等が多数の店舗で統一的に管理された店舗のこと。

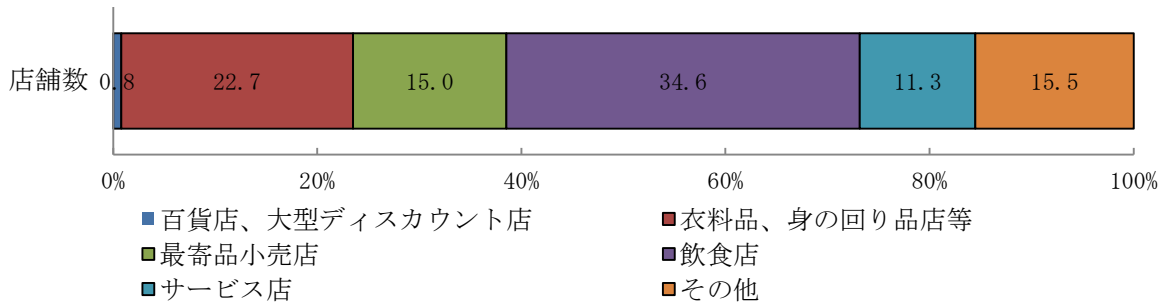
スーパー、コンビニエンスストアのほか、ファーストフード店、ドラッグストア店等が該当する。

1-3 商店街の業種別店舗数の割合（業種構成）

（1）商店街における業種別店舗数の割合

商店街の業種別店舗数の割合は、「飲食店（34.6）」、「衣料品・身の回り品店等（22.7）」、「最寄品小売店（15.0）」の順に多くなっています。

図表3 商店街における業種別店舗数の割合

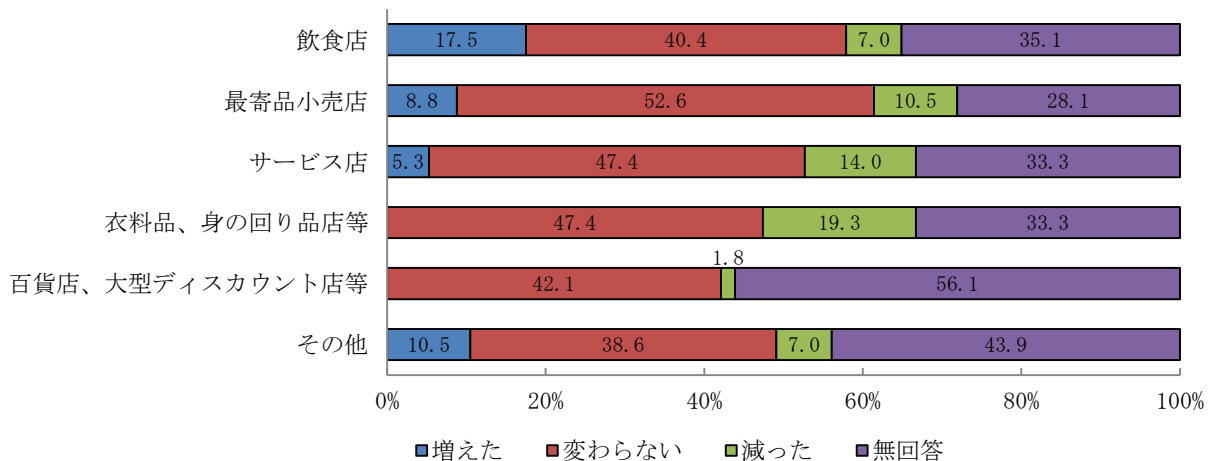


（2）最近3年間の業種別店舗数の変化

業種別店舗数について、最近3年間で最も店舗数が「増えた」業種は「飲食店」であり、飲食店が「増えた」商店街は17.5%、「減った」商店街は7.0%となっています。

また、「飲食店」以外のすべての業種では、店舗数が「増えた」商店街よりも「減った」商店街の方が多くなっており、差し引きで見ると「衣料品、身の回り品店等（-19.3ポイント）」、「サービス店（-8.7ポイント）」、「百貨店、大型ディスカウント店等（-1.8ポイント）」の順に店舗数が「減った」商店街の割合が多くなっています。

図表4 最近3年間の業種別店舗数の変化



* 「最寄品」とは、消費者が、日常的に頻繁に購入する製品のことで、例えば、タバコ、洗剤、雑誌など。

* 「身の回り品」の例としては、靴、アクセサリ、鞆、財布・革小物、旅行用品など。

1-4 商店街の空き店舗の状況

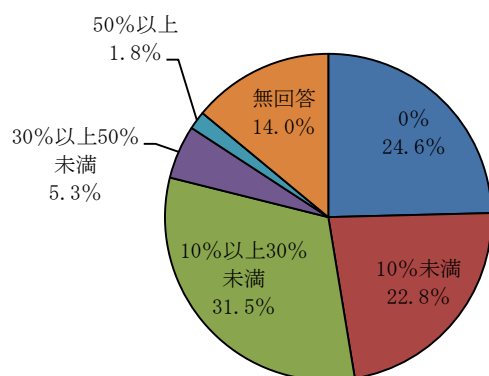
(1) 空き店舗の平均店舗数

1 商店街あたりの空き店舗（*）の平均店舗数は 4.1 店となっており、国全体の平均店舗数 5.3 店と比較して 1.2 店少なくなっています。

(2) 空き店舗率

平均空き店舗率（*）は 12.5% となっており、全国の平均空き店舗率 13.8% と比較して 1.3 ポイント低くなっています。

図表5 空き店舗率ごとの商店街数の分布



(3) 最近3年間の空き店舗数の変化

最近3年間の1 商店街あたりの空き店舗数の変化をみると、「増えた（33.3%）」と回答した商店街が「減った（15.8%）」と回答した商店街を 17.5 ポイント上回っています。

* 「空き店舗」とは、従前は店舗であったものが、現状空きスペース（空き地、空きビル、空き倉庫等）になっているもの

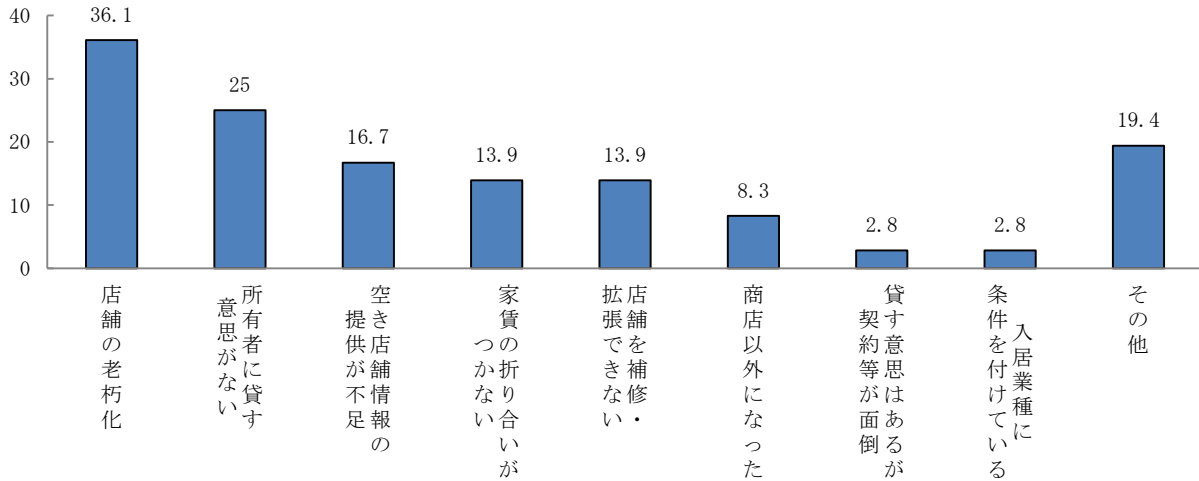
* 「平均空き店舗率」（%）＝全商店街の空き店舗数の合計／全商店街の全店舗数の合計

(4) 空き店舗が埋まらない理由

A. 地主や家主等貸し手側の都合によるもの

「店舗の老朽化 (36.1%)」、「所有者に貸す意思がない (25.0%)」、「空き店舗情報の提供が不足 (16.7%)」の順に多くなっています。

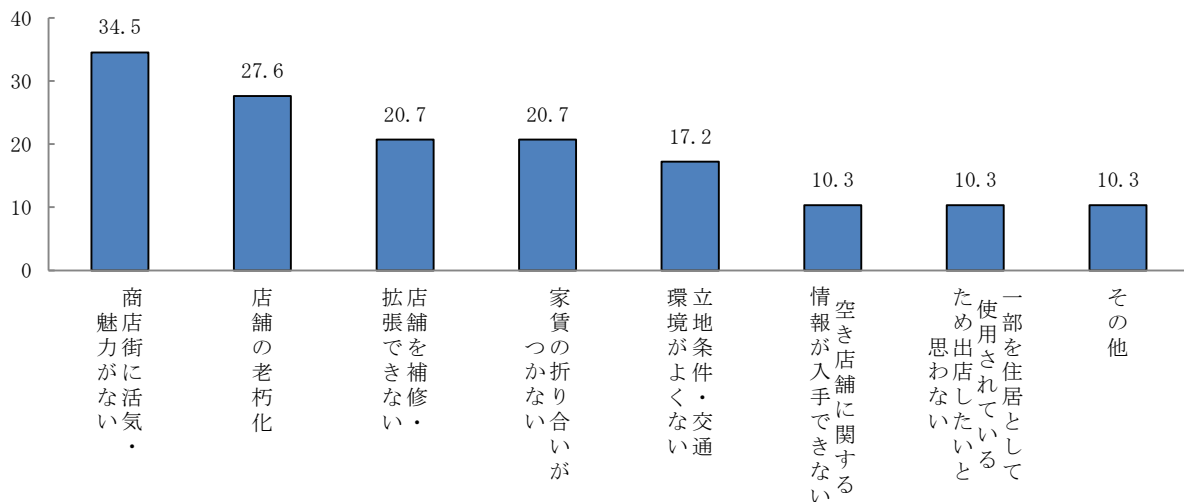
図表6 空き店舗が埋まらない理由【A.地主や家主等貸し手側の都合によるもの】
【複数回答(2つまで)】



B. テナント等借り手側の都合によるもの

「商店街に活気・魅力がない (34.5%)」、「店舗の老朽化 (27.6%)」の順に多くっており、次いで「店が補修・拡張できない (20.7%)」「家賃の折り合いがつかない (20.7%)」となっています。

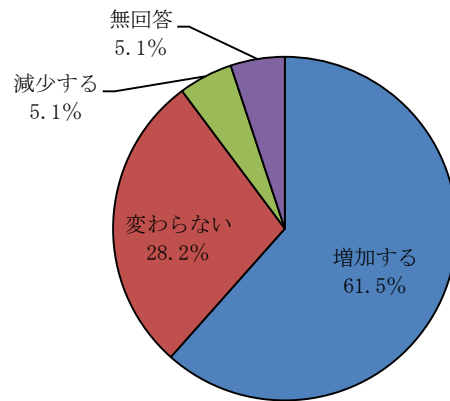
図表7 空き店舗が埋まらない理由【B.テナント等借り手側の都合によるもの】
【複数回答: 2つまで】



(5) 今後の空き店舗の見通し

空き店舗の今後の見通しは、「増加する」と回答した商店街が全体の61.5%を占めています。

図表8 今後の空き店舗の見込み

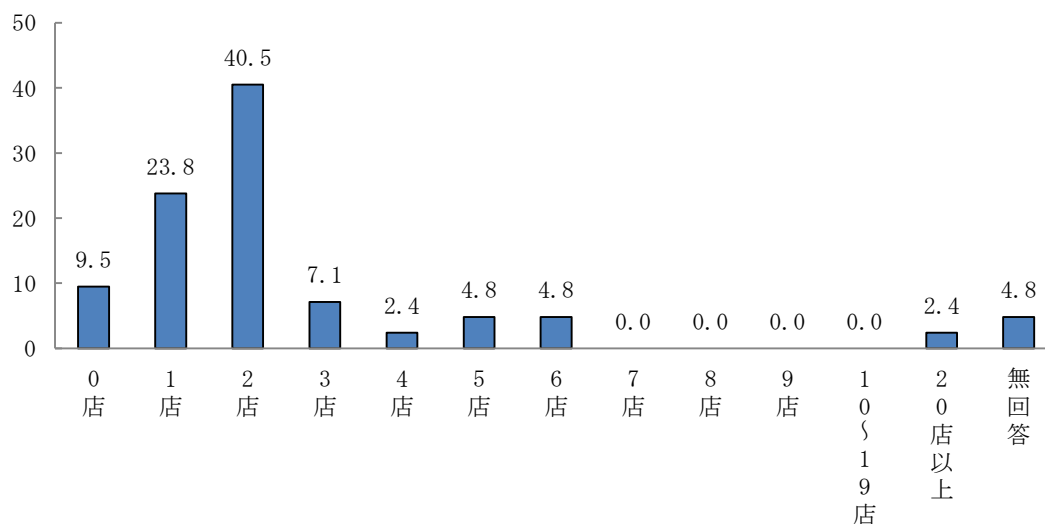


1-5 店主の退店（廃業）の状況

(1) 最近3年間に退店（廃業）した店舗

最近3年間に退店（廃業）した店舗数は、「0店」と回答した商店街が9.5%あるものの、「2店（40.5%）」、「1店（23.8%）」、「3店（7.1%）」の順に多くなっており、1店から3店までで全体の71.4%を占めています。

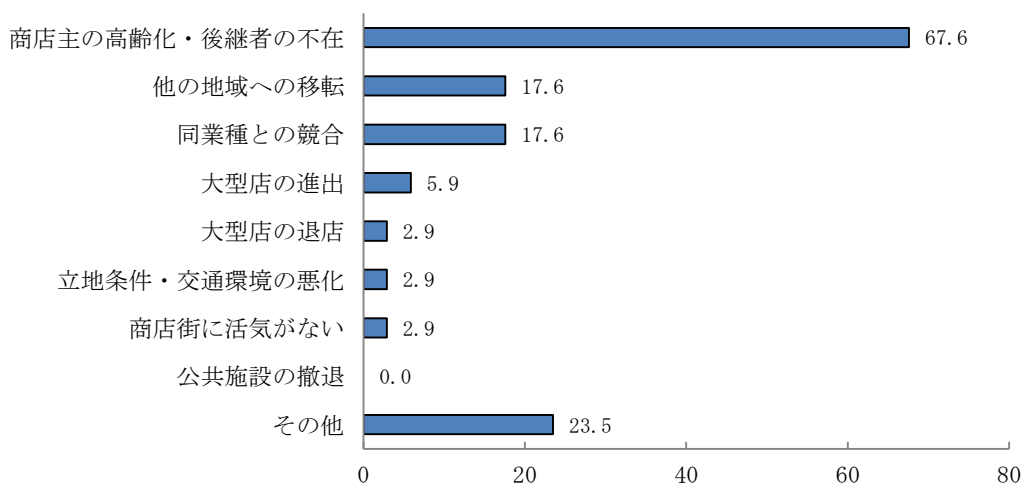
図表9 最近3年間に退店（廃業）した店舗



(2) 退店（廃業）した理由

退店（廃業）した理由は、「店主の高齢化・後継者の不在」が67.6%を占めており、続いて「他の地域への移転」「同業種との競合」の17.6%となっています。

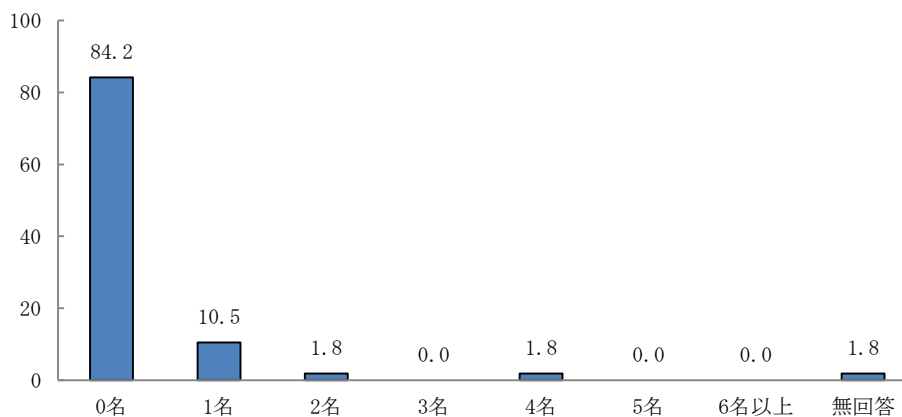
図表10 退店（廃業）した理由【複数回答（2つまで）】



1-6 商店街組織の専従事務局員数の有無

商店街活動の担い手である商店街組織の84.2%は、専従事務局員（パート、アルバイトを含む。）が「0名」の状態です。

図表11 商店街組織の専従事務局員数

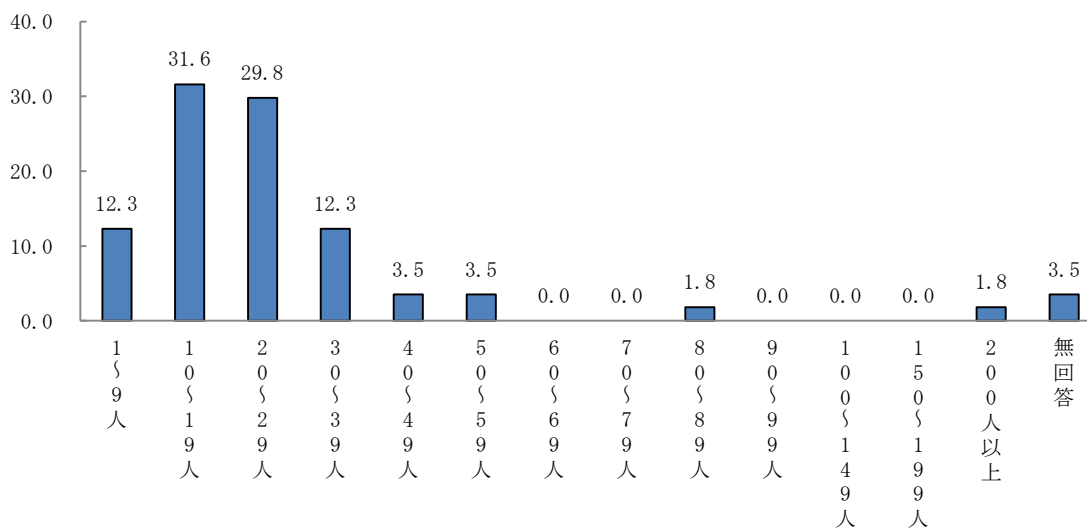


1-7 商店街組織の会員（組合員）数と会費未納入店舗の割合

(1) 商店街組織の会員（組合員）数

商店街組織を形成する会員（組合員）数の平均は30.2人となっており、全国の平均40.6人と比較して10.4人少なくなっています。

図表12 商店街組織の会員（組合員）数



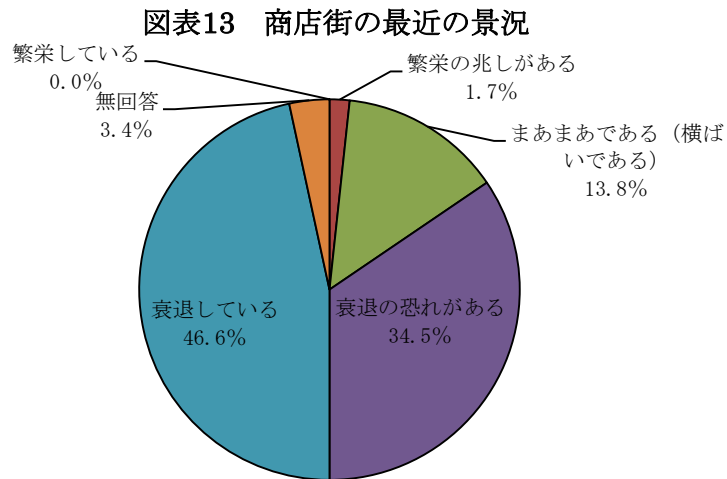
(2) 商店街組織への会費の未納入率

商店街組織への会費の未納入率は2.6%と、ほとんどの会員（組合員）は会費を納めています。

2 商店街の景況と来街者の動向について

2-1 商店街の最近の景況

商店街の最近の景況は、「繁栄している (0.0%)」、「繁栄の兆しがある (1.7%)」、「衰退している (46.6%)」、「衰退の恐れがある (34.5%)」、「まあまあである (横ばいである) (13.8%)」となっています。

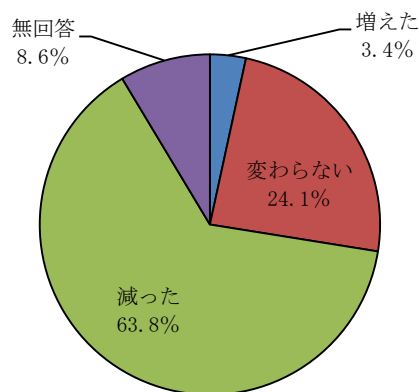


2-2 最近の商店街への来街者の動向

(1) 最近3年間の商店街への来街者数の変化

最近3年間の来街者数の変化(*)は、「減った (63.8%)」が「増えた (3.4%)」を60.4ポイント上回っています。また、「変わらない」と回答した商店街は24.1%でした。

図表14 最近3年間の来街者数の変化

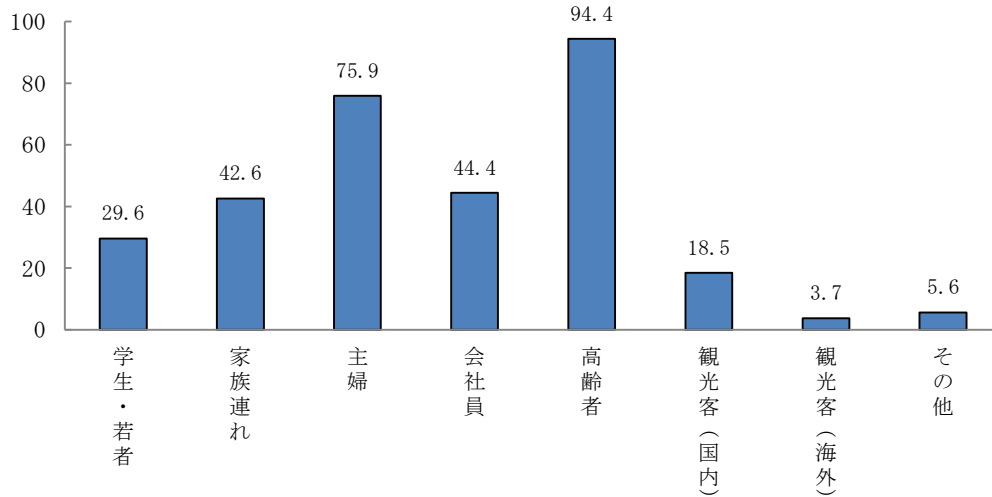


* 『商店街実態調査報告書』においては、平成27年度商店街実態調査のデータと比較して記載していますが、平成27年度の本調査における山形県に係る最近3年間の来街者数の変化は公表されていないため、記載しません。

(2) 来街者層

商店街を訪れる来街者層は、「高齢者（94.4%）」、「主婦（75.9%）」、「会社員（44.4%）」の順に多くなっています。

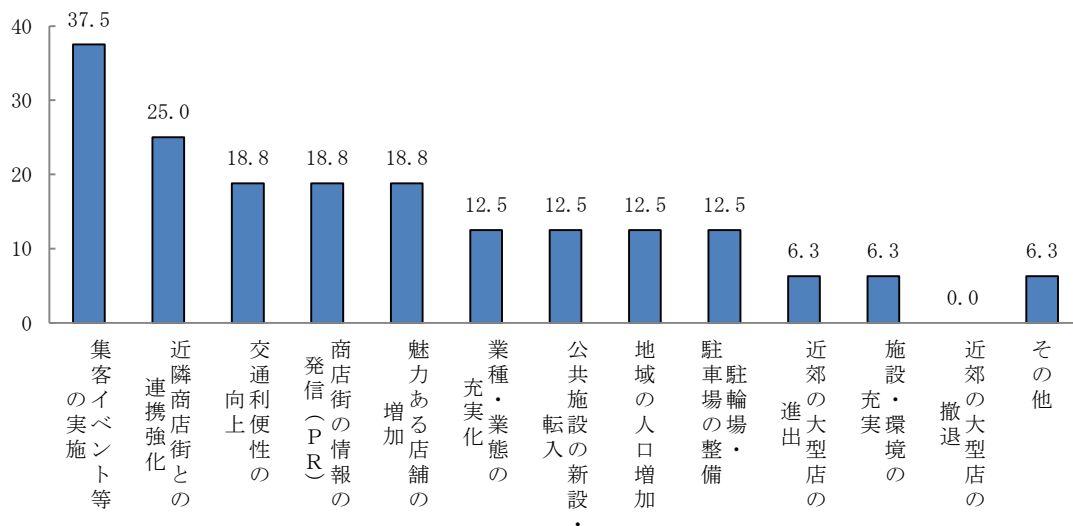
図表15 来街者層 【複数回答（いくつでも）】



(3) 来街者が「増えた」または「変わらない」要因

来街者が「増えた」または「変わらない」要因としては、「集客イベント等の実施（37.5%）」、「近隣商店街との連携強化（25.0%）」の順に多くなっており、次いで「交通利便性の向上（18.8%）」「商店街の情報の発信（PR）（18.8%）」「魅力ある店舗の増加（18.8%）」となっています。

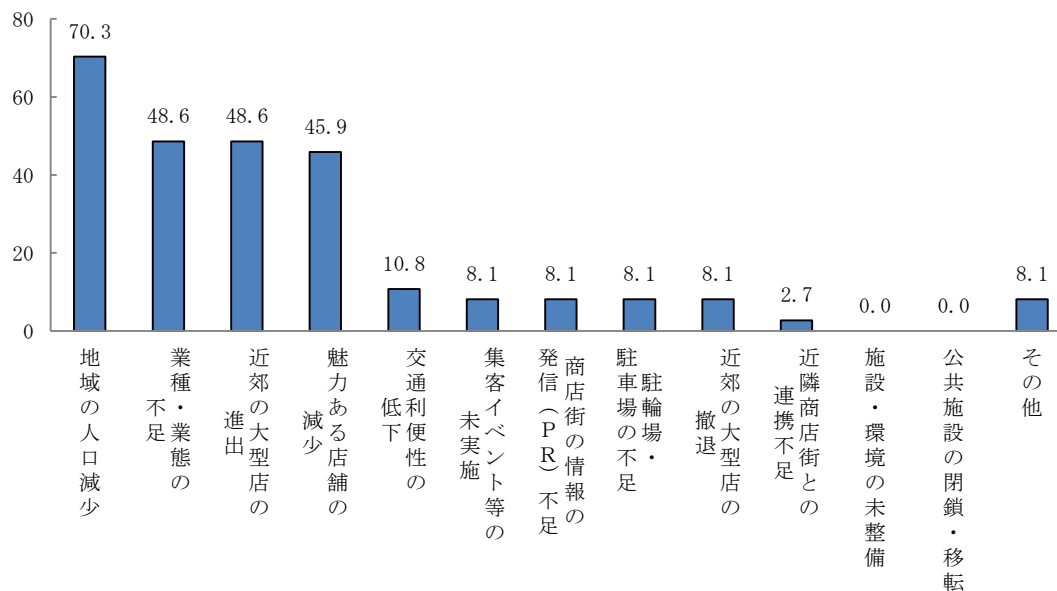
図表16 来客者が「増えた」または「変わらない」要因 【複数回答（3つまで）】



(4) 来街者が「減った」要因

来場者が「減った」要因としては、「地域の人口減少（70.3%）」が最も多く、次いで「業種・業態の不足（48.6%）」「近郊の大型店の進出（48.6%）」「近郊の大型店の進出（48.6%）」となっています。

図表17 来街者が「減った」要因【複数回答（3つまで）】

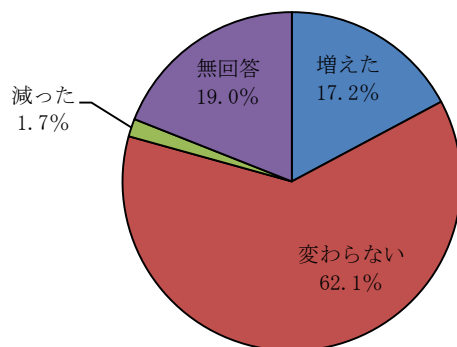


2-3 外国人観光客の動向

(1) 外国人観光客数（3年前との比較）

外国人観光客数を3年前と比較すると、「変わらない（62.1%）」、「増えた（17.2%）」、「減った（1.7%）」の順に多くなっています。

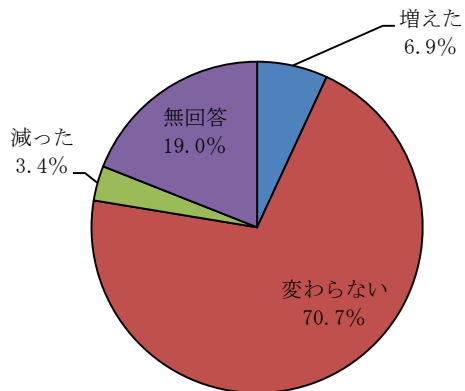
図表18 外国人観光客数（3年前との比較）



(2) 一般の客数に対する外国人観光客数（3年前との比較）

一般の客数に対する外国人観光客数を同様に比較すると、「変わらない（70.7%）」、「増えた（6.9%）」、「減った（3.4%）」の順に多くなっています。

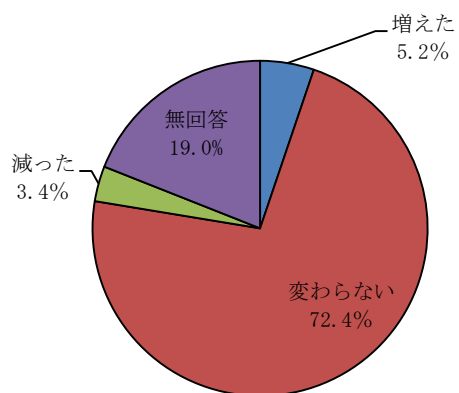
図表19 一般の客数に対する外国人観光客数（3年前との比較）



(3) 外国人観光客の消費額（3年前との比較）

外国人観光客の消費額を同様に比較すると、「変わらない（72.4%）」、「増えた（5.2%）」、「減った（3.4%）」の順に多くなっています。

図表20 外国人観光客の消費額（3年前との比較）

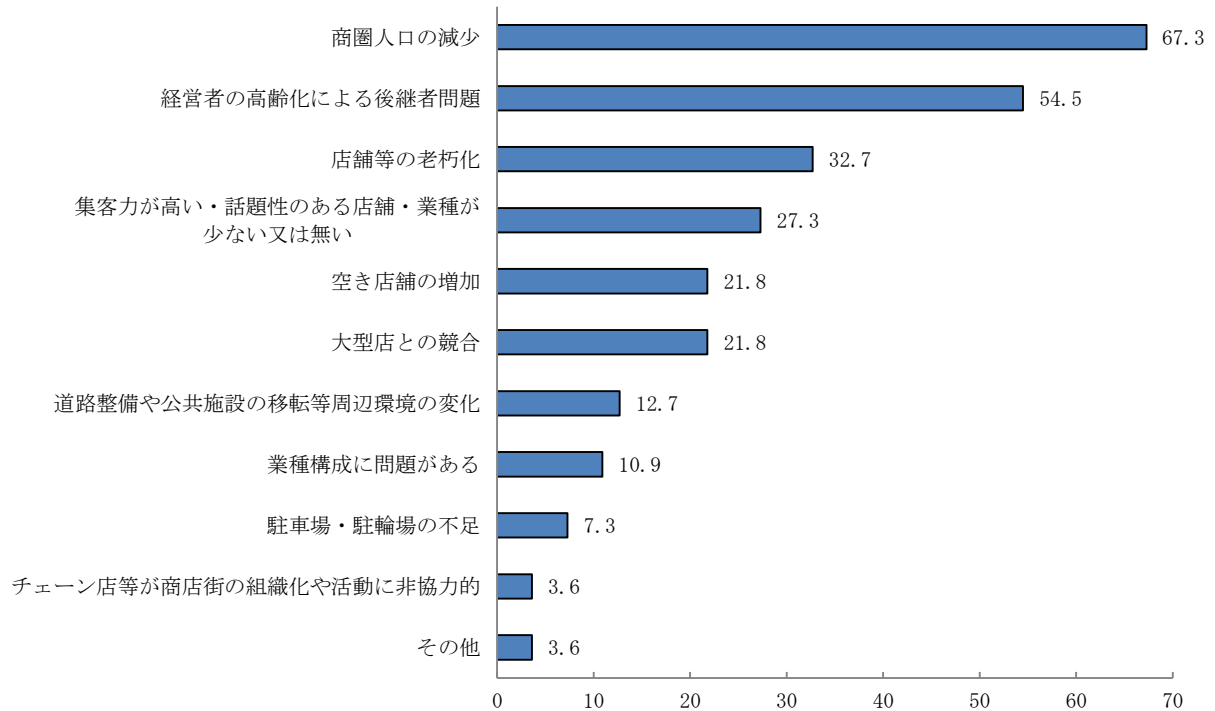


3 商店街の抱える問題と取組状況について

3-1 商店街の抱える問題

商店街における問題は、「商圈人口の減少（67.3%）」、「経営者の高齢化による後継者問題（54.5%）」、「店舗等の老朽化（32.7%）」、「集客力が高い・話題性のある店舗・業種が少ない又は無い（27.3%）」が上位を占めました。

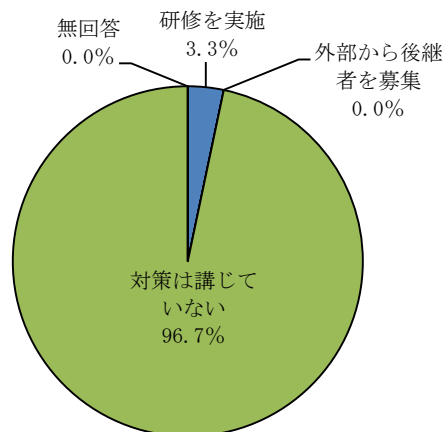
図表21 商店街における問題【複数回答（3つまで）】



3-2 経営者の後継者問題に対する商店街の取組状況

後継者問題の対策については、「対策は講じていない（96.7%）」が大半を占めており、「研修を実施（3.3%）」は少数となっており、取組状況は極めて低くなっています。

図表22 後継者問題の対策

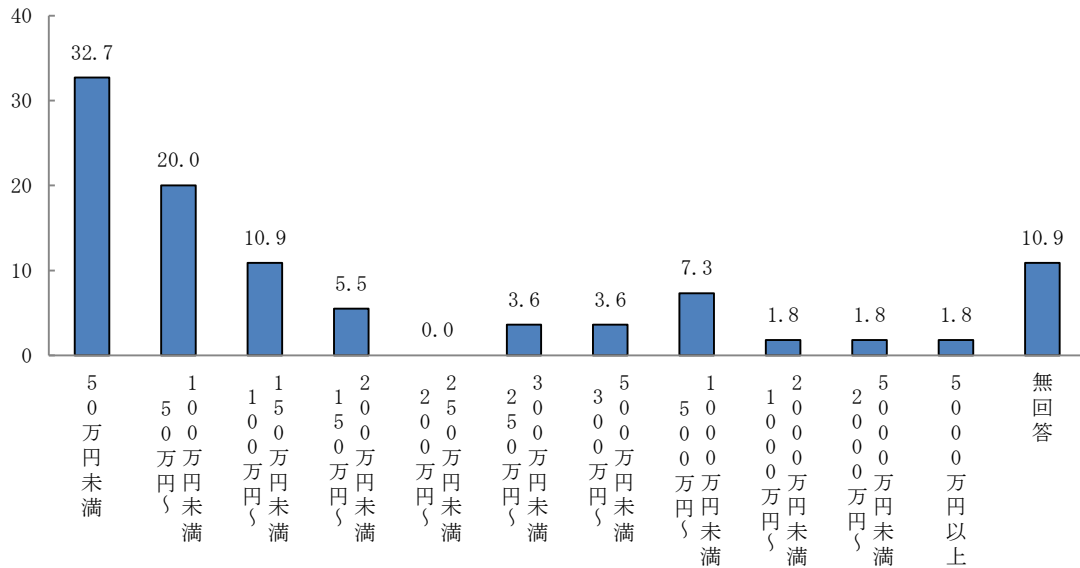


3-3 商店街の予算規模

(1) 年間総事業予算額

平成30年度の商店街の予算規模については、「50万円未満（32.7%）」、「50万円～100万円未満（20.0%）」、「100万円～150万円未満（10.9%）」の順に多くなっています。

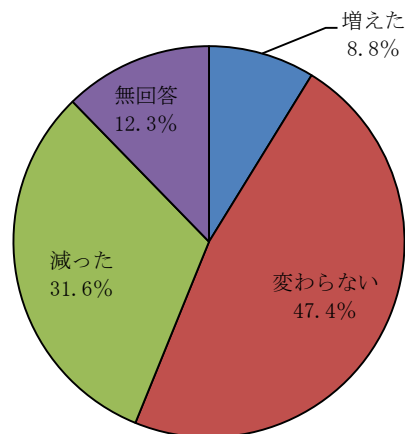
図表23 年間総事業予算額



(2) 年間総事業予算額（3年前との比較）

年間総事業予算額を3年前と比較すると、「変わらない（47.4%）」、「減った（31.6%）」、「増えた（8.8%）」の順に多くなっています。

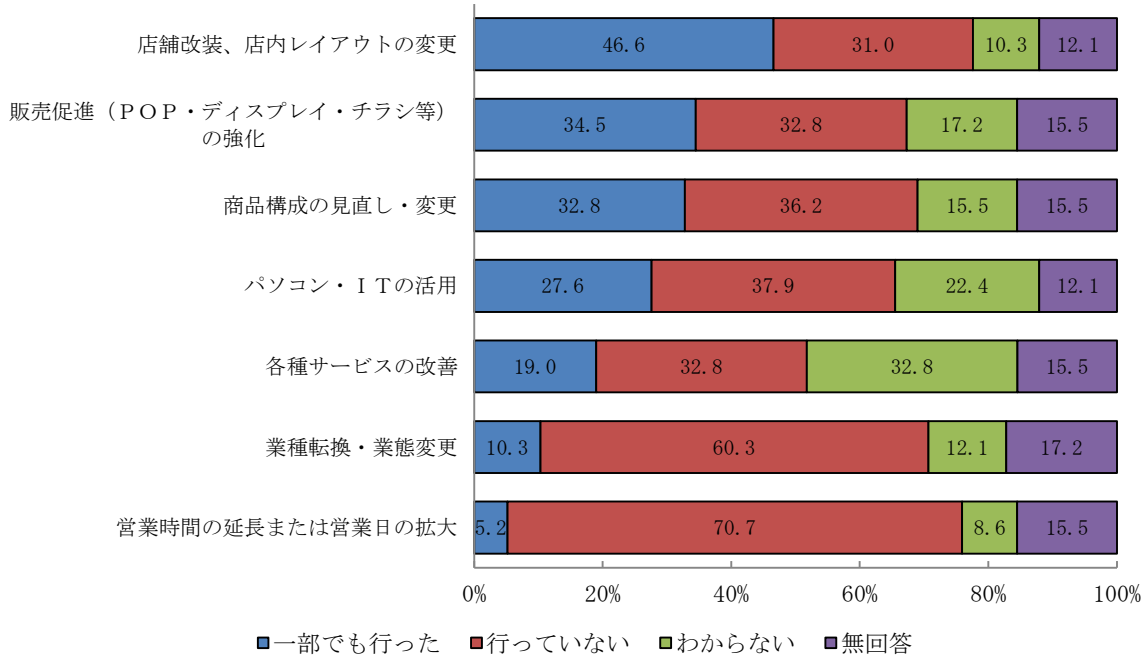
図表24 年間総事業予算額（3年前との比較）



3-4 商店街の個店の魅力向上のための取組状況

商店街が抱える問題のうち、魅力ある店舗の減少は大きな問題のひとつです。魅力ある店舗を形成するための個店の改善・活性化策について、「一部でも行った」と回答のあった取組は、「店内改装、店内レイアウトの変更（46.6%）」が最も多く、次いで「販売促進（POP・ディスプレイ・チラシ等）の強化（34.5%）」、「商品構成の見直し・変更（32.8%）」の順に多くなっています。

図表25 商店街の個店の改善・活性化策

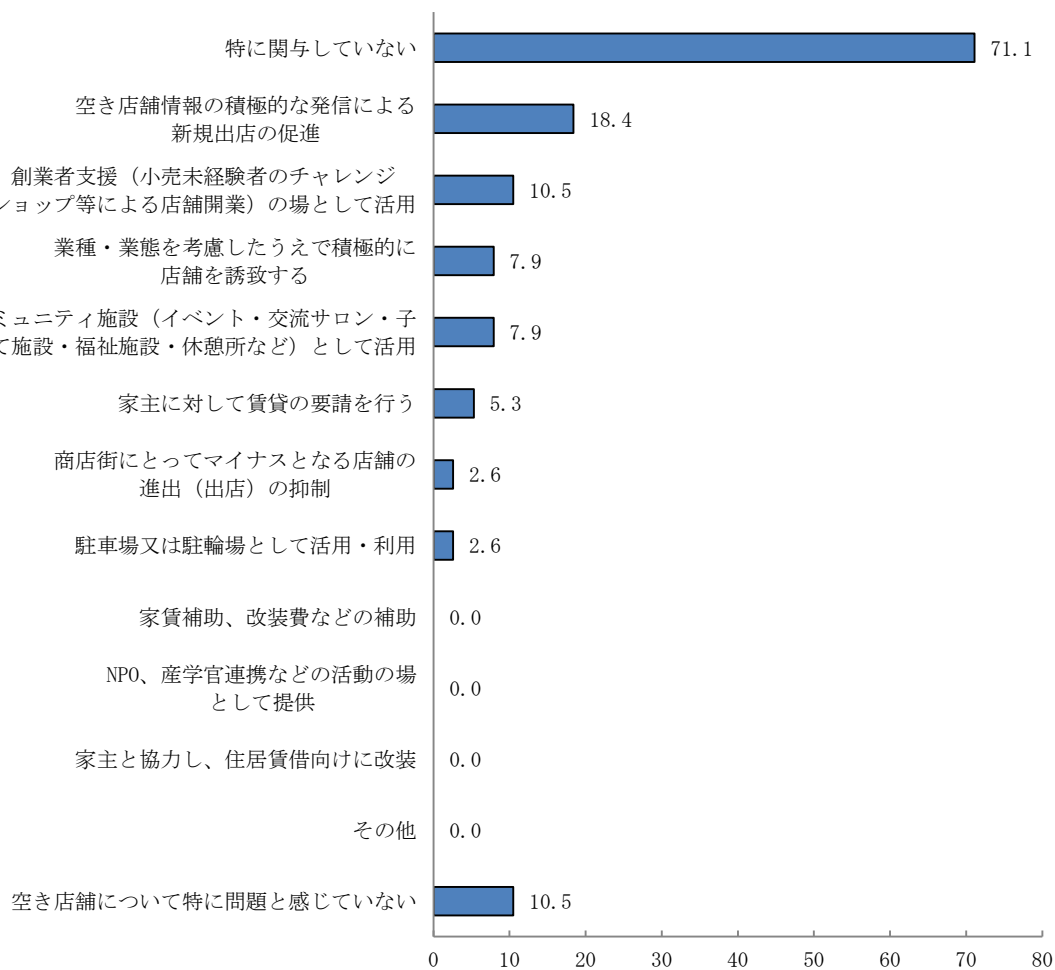


3-5 空き店舗の発生に対する商店街の取組状況

空き店舗の発生に対する商店街の取組状況は、「特に関与していない（71.1%）」が最も多くなっています。

空き店舗の発生に対する取組みを行っている商店街では、「空き店舗情報の積極的な発信による新規出店の促進（18.4%）」、「創業者支援（小売未経験者のチャレンジショップ等による店舗開業）の場として活用（10.5%）」、「業種・業態を考慮したうえで積極的に店舗を誘致する（7.9%）」「コミュニティ施設（イベント・交流サロン・子育て支援・福祉施設・休憩所など）として活用（7.9%）」の順に多くなっています。

図表26 空き店舗の発生に対する取組【複数回答（3つまで）】



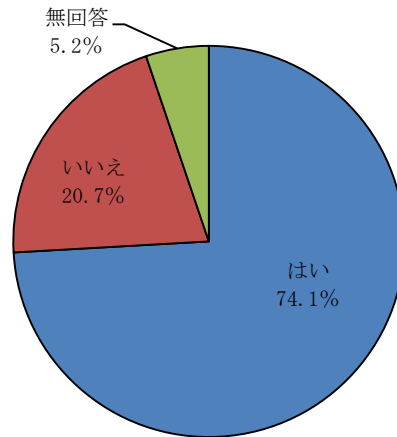
3-6 商店街の地域（各種団体）との連携状況

(1) 商店街の地域連携の状況

商店街の後継者不足、新たな担い手の不足などを補完し、地域住民のニーズに対応した取組や地域の伝統文化の継承、安心・安全などの取組を行うためには、地域の各団体等との連携促進が重要な課題です。

商店街の地域（各種団体等）との連携状況をみると、全体の74.1%の商店街が地域の各種団体との連携を行っていると回答しています。

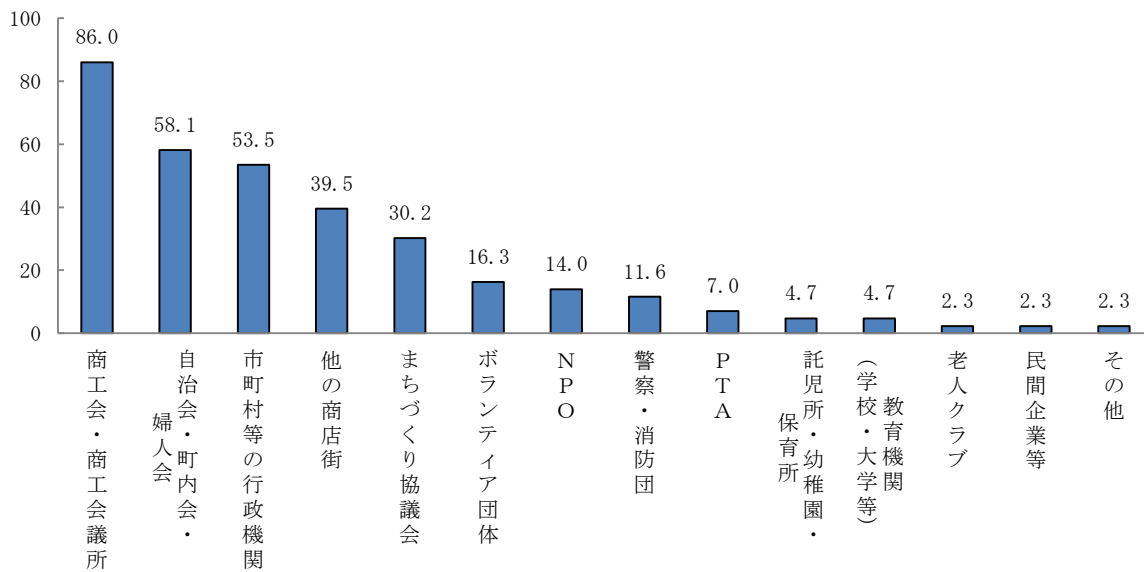
図表27 商店街の地域連携の状況



(2) 商店街と連携している地域の各種団体

具体的な連携先は、「商工会・商工会議所（86.0%）」、「自治会・町内会・婦人会（58.1%）」、「市町村等の行政機関（53.5%）」の順に多くなっています。

図表28 商店街と連携して地域活動を行っている各種団体



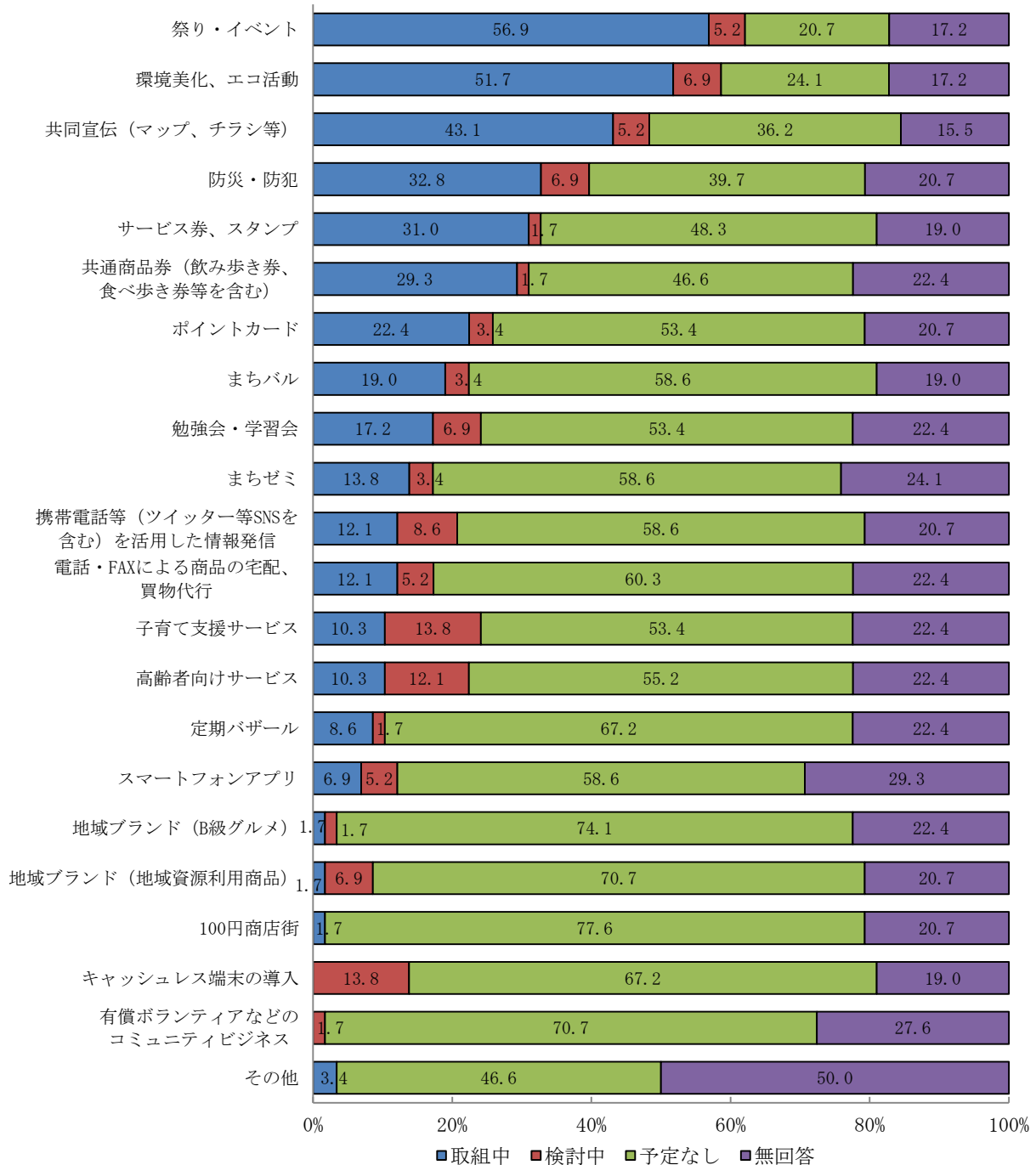
4 現在、商店街が取り組んでいる具体的な各種事業について

4-1 商店街が実施しているソフト事業

商店街が「取組中」のソフト事業は、「祭り・イベント（56.9%）」が最も多く、次いで「環境美化・エコ活動（51.7%）」、「共同宣伝（マップ・チラシ等）（43.1%）」、「防災・防犯（32.8%）」の順に多くなっています。

また、「検討中」のソフト事業は、「子育て支援サービス（13.8%）」「キャッシュレス端末の導入（13.8%）」、「高齢者向けサービス（12.1%）」の順に多くなっています。

図表29 商店街が実施しているソフト事業



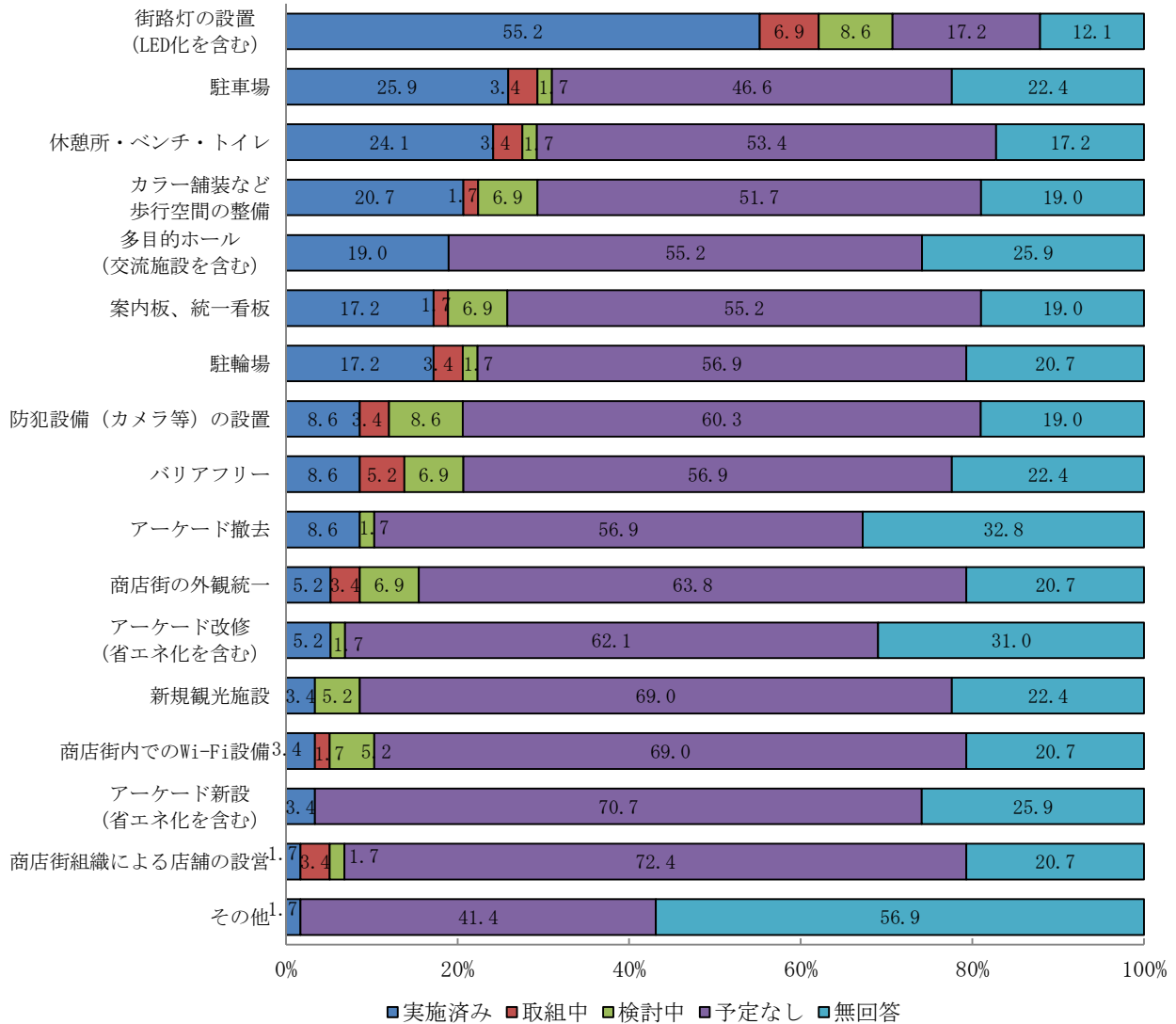
*過去実施していたが現在は実施していない活動・事業については「予定なし」を選択。

4-2 商店街が実施しているハード事業

商店街が「実施済み」のハード事業は、「街路灯の設置（LED化を含む）（55.2%）」が最も多く、次いで「駐車場（25.9%）」、「休憩所・ベンチ・トイレ（24.1%）」の順に多くなっています。

また、「検討中」のハード事業は、「街路灯の設置（LED化を含む）（8.6%）」「防犯設備（カメラ等）の設置（8.6%）」が最も多く、次いで「カラー舗装などの歩行空間の整備（6.9%）」「案内板、統一看板（6.9%）」「バリアフリー（6.9%）」「商店街の外観統一（6.9%）」となっています。

図表30 商店街が実施しているハード事業



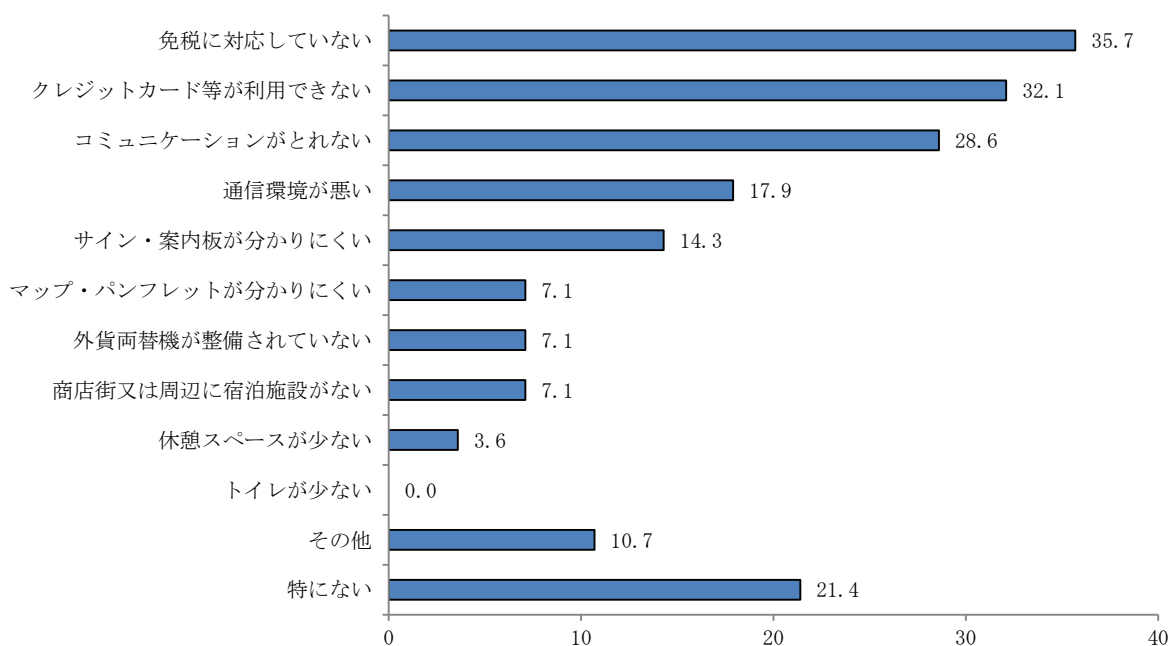
* 「実施済み」：設置・工事完了したもの、「取組中」：設計・工事中のもの、「検討中」：基本構想中のもの。

4-3 外国人観光客の受け入れに関する取組状況

(1) 商店街を来街した外国人観光客が不便に感じていること

商店街が思う来街した外国人観光客が不便に感じていることは、「免税に対応していない (35.7%)」、「クレジットカード等が利用できない (32.1%)」、「コミュニケーションがとれない (28.6%)」の順に多くなっています。

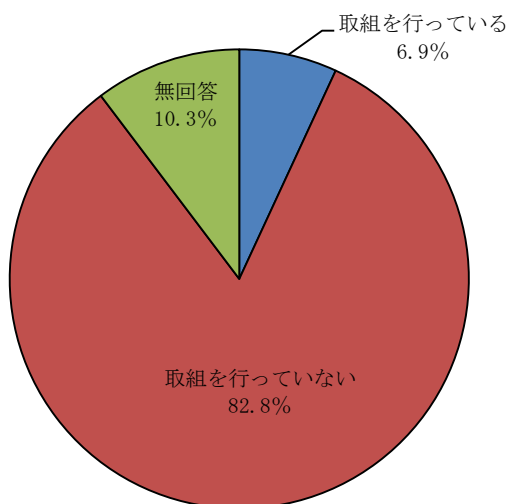
図表31 商店街を来街した外国人観光客が不便に感じていること
【複数回答 (3つまで)】



(2) 外国人観光客を受け入れるための取組の有無

外国人観光客を受け入れるための取組について、「取組を行っていない (82.8%)」、「取組を行っている (6.9%)」となっています。

図表32 外国人観光客を受け入れるための取組の有無



(3) 外国人観光客を受け入れるために実施している取組

外国人を受け入れるために実施している取組の内容をみると、「Wi-Fi の設置 (75.0%)」が最も多く、次いで「マップ・パンフレット等の多言語化 (50.0%)」となっています。

図表33 外国人観光客を受け入れるために実施している取組
【複数回答：いくつでも】

